

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	公表日				
敦賀市立子ども発達支援センター バラレル 児童発達支援事業所	令和8年3月17日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2		・さらに職員を配置できるとより豊かな支援ができるようになると思う。 ・日によっては十分な時もあるが利用人数が多かったりする日は足りないと感じることもある。休みにくさがある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0		・部屋の手すりは大人向けの高さで子どもには高く、目にぶつけそう。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・毎日清掃が入っており清潔が保たれている、新しい教材や備品も充実している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	・PECSでも要求できるように設定されています。 ・仕切りを使用し落ち着くスペースを作ることもある。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・保護者ミーティングや療育参観を通し、意見交換ができるように設定しています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・全体での朝礼やミーティングの際に意見交換が出来ている。 ・会議の場を設けており正輪だけでなくパートさんも一緒に振り返りや療育内容について話をする事ができている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・法人内の研修が充実している。 ・法人内研修+児発内研修(伝達研修や外部講師の研修)を定期的に行っています。 ・療育センターの先生の研修もあり、ありがたい。	・法人内研修があることはとてもありがたいが、子どもがいる人は勤務時間外にあると参加のしにくさがある(子連れOKだとしても)
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・日頃から職員間で話すことが多く全体で理解することができていると思う。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・職員間で共有後、いつでも計画内容を見返すことができるようになってきている。 ・作成したものを職員間で共有しており個人ファイルに入れてあるため全員がいつでも確認できる。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・職員間で子どもの様子を話し合い、その時の姿・様子に合わせて立案している。 ・グループの担当の職員を中心に活動を検討しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・主の担当が日によって違うことで同じ活動をするにしても進め方が違ったり提供の仕方も違うようになり良いと思う。 ・活動が固定化しないようブームで新しく出る素材や支援グッズも活用しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・出勤時間が違う職員にも伝わるよう情報共有はできるようにしている。 ・朝礼でその日の確認を行い、定期的に児発会議・給食会議を行っています。 ・朝礼後、必ず打ち合わせを実施している。	・朝のミーティングで内容の把握ができています。パートさんへの伝えそびれがたまにある…
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	・その日に改善点や気付きを話すことができていますように感じる。 ・勤務状況によって全員では難しい場面もあるが引継ぎ表などの書類での共有も活用している。	・集団利用時はできているが個別ではできない時とできない時がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・違う担当になっても支援できるよう日々の記録や話し合いで共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・児発管を始め、各担当職員が必要に応じ参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		・各保育園・幼稚園との連携は保育所等保育所等訪問支援を含め密に行っていますが、医療との連携をより濃くしたいと考えます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか、また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	6	0	・通所連絡会を通し、連携を図っています。 ・定期的に開催している通所連絡会を通して事業所等と連携を図ることができています。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	6	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		・ぼっぼ保育園と交流する機会を作ってもいいのかな?と思います。 ・個人情報もあり、範囲は限られますが法人内の保育園を差し交流する場を検討中です。 ・ほとんどの利用児が保育所等に在園中であり、地域の中で過ごすことができています。法人内で保育所があるので交流の場が広がっていくといい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・ミーティングなどを行い、課題の共通理解を図っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	・新しい取り組みとして家族支援の後援会をしました。第2回の要望も多くありがたいです。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・療育参観や土曜日のイベント、必要に応じ面談する場を通し、話をする機会を設けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・グループでの保護者ミーティングや座談会、きょうだい支援の交流の場を設けている。 ・きょうだい支援にも力を入れてます。敦賀市内にも広がるように願っています。 ・きょうだいのみが参加できる広場もあるので楽しみにしている子がいる。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・ファイルは鍵付きの扉で保管している。	・出入りのある所に個人の書類があるのを見かけるので気を付けるべき。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		・顔を見て伝えることができる保護者さんもいるが、なかなか来られることのない方だと直接話せないで意思疎通が十分できているかは不安が大きい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	・一般企業と連携し、重機体験のイベントを行ったり、イベントにキッチンカーがくるなど地域に開かれた事業運営を図っている。 ・一般の方誰でも、は難しいがキッチンカーの方を呼んで交流は行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1		・嘔吐処理や避難訓練は行っているが、その他も含め周知しきれていないと思う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・利用前にアレルギーチェックを書面でやっている。 ・アレルギーのあるお子さんは献立のチェックもして頂いています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・ヒヤリハットを事業所内で共有することはもちろん、法人内でも件数の把握を行っている。 ・あった際にはその日に対応・対策を考えて共有することができていると思う。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・法人研修でも虐待研修をしています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・腹部のベルトや首の固定にタオルを使用する際は確認と、個別計画にも記載しています。		